



恒 星 社 厚 生 閣

水産学シリーズ 第1巻～第99巻

海洋・河川・湖水などに生息する水産資源を、増殖・漁獲・加工等の
観点から水産業全体を研究網羅する体系シリーズ！



<学術機関・企業向け価格>
全99巻セット

同時1アクセス： ¥653,400+税
同時3アクセス： ¥980,100+税



第1巻	水圏の富栄養化と水産増養殖	第51巻	人工魚礁
第2巻	のりの病気	第52巻	水産食品と栄養
第3巻	食品の水—水分活性と水の挙動	第53巻	漁業と環境—水域別の現状と問題点
第4巻	魚の品質	第54巻	養魚飼料—基礎と応用
第5巻	対馬暖流—海洋構造と漁業	第55巻	秋サケの資源と利用
第6巻	魚類の成熟と産卵—その基礎と応用	第56巻	貝毒プランクトン—生物学と生態学
第7巻	魚類とアニサキス	第57巻	水産動物の筋肉脂質
第8巻	稚魚の摂餌と発育	第58巻	環境化学物質と沿岸生態系
第9巻	魚類種族の生化学的判別	第59巻	マダいの資源培養技術
第10巻	海洋の生態系と微生物	第60巻	魚の低温貯蔵と品質評価法
第11巻	南方カツオ漁業—その資源と技術	第61巻	水産増養殖と微生物
第12巻	種苗の放流効果—アワビ・クルマエビ・マダイ	第62巻	漁業からみた閉鎖性海域の窒素・リン規制
第13巻	白身の魚と赤身の魚—肉の特性	第63巻	魚のスーパーテリング
第14巻	水産資源の有効利用—資源管理から利用加工	第64巻	海産付着生物と水産増養殖
第15巻	水産動物のホルモン	第65巻	海産有用生理活性物質
第16巻	石油汚染と水産生物	第66巻	資源評価のための数値解析
第17巻	海の生態学と測定	第67巻	水産食品のテクスチャー
第18巻	海洋生物のPCB汚染	第68巻	下水処理水と漁場環境
第19巻	イワシ・アジ・サバまき網漁業	第69巻	水産動物の日周活動
第20巻	魚肉タンパク質	第70巻	フグ毒研究の最近の進歩
第21巻	浅海養殖と自家汚染	第71巻	エビ・カニ類の種苗生産
第22巻	養魚と飼料脂質	第72巻	魚介類のエキス成分
第23巻	増殖技術の基礎と理論	第73巻	漁具に対する魚群行動の研究手法
第24巻	魚の呼吸と循環	第74巻	水産物のにおい
第25巻	水産動物のカロテノイド	第75巻	水産増養殖と染色体操作
第26巻	水産生物の遺伝と育種	第76巻	水産動物筋肉タンパク質の比較生化学
第27巻	海洋の生化学資源	第77巻	魚貝類の生息環境と着臭
第28巻	漁具の漁獲選択性	第78巻	養殖魚の価格と品質
第29巻	水産食品の鑑定	第79巻	海洋微生物の生物活性物質
第30巻	水域の自浄作用と浄化	第80巻	テレメトリーによる水生動物の行動解析
第31巻	ホタテガイの増養殖と利用	第81巻	魚肉の栄養成分とその利用
第32巻	淡水養魚と用水	第82巻	海面養殖と養魚場環境
第33巻	水産加工食品の保全	第83巻	魚類の初期発育
第34巻	赤潮—発生機構と対策	第84巻	水産加工とタンパク質の変性制御
第35巻	多獲性赤身魚の有効利用	第85巻	海産魚の産卵・成熟リズム
第36巻	かご漁業	第86巻	魚類の死後硬直
第37巻	魚類の化学感覚と摂餌促進物質	第87巻	漁場環境容量
第38巻	藻場・海中林	第88巻	食用藻類の栽培
第39巻	活魚輸送	第89巻	海洋生理活性物質研究法
第40巻	海洋動物の非グリセリド脂質	第90巻	東南アジアの水産養殖
第41巻	魚介類の成熟・産卵の制御	第91巻	微細藻類の利用
第42巻	有毒プランクトン—発生・作用機構・毒成分	第92巻	有機スズ汚染と水生生物影響
第43巻	沿岸海域の富栄養化と生物指標	第93巻	放流魚の健苗性と育成技術
第44巻	シオミズツボウムシ—生物学と大量培養	第94巻	海洋生物のカロテノイド—代謝と生物活性
第45巻	海藻の生化学と利用	第95巻	水域の窒素・リン比と水産生物
第46巻	水産資源の解析と評価	第96巻	水産脂質—その特性と生理活性
第47巻	魚類の物質代謝	第97巻	水産資源解析と統計モデル
第48巻	漁業環境アセスメント	第98巻	魚類の初期減耗研究
第49巻	資源生物としてのサメ・エイ類	第99巻	赤潮と微生物—環境にやさしい微生物農薬を求めて
第50巻	魚肉ねり製品—研究と技術		

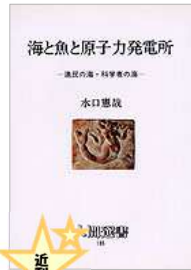
水産関連のご案内



戦間期日本の水産物流通

商品コード: 1012719659
刊行年: 2009 出版社: 日本経済評論社
底本ISBN: 9784818820180
同時アクセス数1: 本体 6,400円 + 税
同時アクセス数3: 本体 9,600円 + 税

政府の主導した水産物供給政策、冷凍・冷蔵技術と製氷・冷蔵企業の経営、日魯漁業の塩魚の「計画的な流通事業」、日本水産の「水産工業化」戦略という4つの相互に関連する問題を検討します。



海と魚と原子力発電所

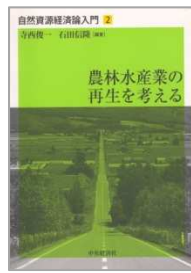
—漁民の海・科学者の海—(人間選書)
商品コード: 1016437765
刊行年: 1989 出版社: 農山漁村文化協会
底本ISBN: 9784540881336
同時アクセス数1: 本体 4,700円 + 税
同時アクセス数3: 本体 7,100円 + 税

いま、ここだけの豊かさのために未来と自然の財産を貪る原子力発電所。10年、20年と、原発をつくらせないで来た全国30カ所以上の漁民の持続力に学び、脱原発の方向性を探ります。



農林水産業を見つめなおす (自然資源経済論入門1)

商品コード: 1013749086
刊行年: 2010 出版社: 中央経済社
底本ISBN: 9784502680601
同時アクセス数1: 本体 11,100円 + 税
同時アクセス数3: 本体 16,700円 + 税
一橋大学の特別講義を再現。1では、日本および世界の農林水産業を改めて見つめなおし、それらの歴史・現状・課題について、環境経済学の視点から解き明かします。



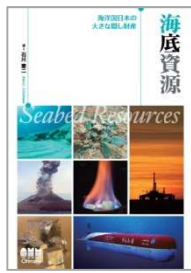
農林水産業の再生を考える (自然資源経済論入門2)

商品コード: 1013749087
刊行年: 2011 出版社: 中央経済社
底本ISBN: 9784502691102
同時アクセス数1: 本体 9,300円 + 税
同時アクセス数3: 本体 13,900円 + 税
一橋大学の特別講義を再現。2では、農林水産業の再生と持続可能な発展に向けた課題や論点を多角的にとりあげ、その解決策となる指針を提示。東日本大震災による農林水産業の被害状況、復興・再生に向けた取り組みにも言及します。



英語で学ぶ現代アメリカ水産業 (ACADEMIA SOCIETY)

商品コード: 1016496768
刊行年: 2011 出版社: 大学教育出版
底本ISBN: 9784864290920
同時アクセス数1: 本体 3,600円 + 税
同時アクセス数3: 本体 4,600円 + 税
水産学の内容に特化した英語テキスト。「海産物とアメリカ人」「アメリカの養殖業」「持続可能な漁業」等の章ごとに、700語前後の英文本文、ブレリーディング設問、重要事項説明、一部書き込み式の問題などを収録しています。



海底資源

—海洋国日本の大きな隠し財産—
商品コード: 1011658397
刊行年: 2012 出版社: オーム社
底本ISBN: 9784274068744
同時アクセス数1: 本体 3,900円 + 税
同時アクセス数3: 本体 4,700円 + 税
日本周辺の海の底には、世界でもトップクラスの埋蔵量といわれるほど多くの、有用な鉱物資源やエネルギー資源が眠っているという。これら海底資源の現状と未来について、科学や経済学に沿ったかたちで検証します。



海から生まれた毒と薬

商品コード: 1011987458
刊行年: 2012 出版社: 丸善出版
底本ISBN: 9784621085400
同時アクセス数1: 本体 4,700円 + 税
同時アクセス数3: 本体 7,000円 + 税
海洋生物に焦点をあてて、食中毒を起こすさまざまな毒、刺されて被害を受ける毒などを、さまざまなエピソードとともに解説します。



夢ふくらむ海洋牧場 —200カイリを飛び越える新しい漁業—(ハイテク選書ワイド)

商品コード: 1011600862
刊行年: 1991 出版社: 東京電機大学出版局
底本ISBN: 9784501612504
同時アクセス数1: 本体 4,100円 + 税
同時アクセス数3: 本体 6,200円 + 税
海洋における食料増産が目目されているが、本書ではつくり育てる漁業の中心となる海洋牧場にスポットを当て、その概念や現在の動向、進むべき方向を従来の捕る漁業と比較しながらやさしく解説。



文化遺産の眠る海 —水中考古学入門—(DOJIN選書)

商品コード: 1016496324
刊行年: 2012 出版社: 化学同人
底本ISBN: 9784759813456
同時アクセス数1: 本体 5,000円 + 税
同時アクセス数3: 本体 6,800円 + 税
外交交渉のカードとして使われ始めている水中文化遺産。考古学、人類学、歴史学など多岐にわたる学際的な研究分野ともいえる水中考古学の最新動向を通して、今なぜ水中文化遺産が重要か、その本質を説きます。折り込み地図付。



近世・近代の水産資源と生業 —保全と繁殖の時代—

商品コード: 1016480050
刊行年: 2013 出版社: 吉川弘文館
底本ISBN: 9784642034593
同時アクセス数1: 本体 27,500円 + 税
同時アクセス数3: 本体 41,300円 + 税
世界史的拡がりの中で、日本の漁業史・漁政史はどのように位置づけられるのか。水産資源問題に対する国際的な取り組みの起点となった時代を捉えるとともに、「水産資源繁殖」をキーワードに、一九世紀を中心として、近世・近代日本漁政の展開を検討します。

※表示価格は税抜きです。

2014年11月